

平成25年教育委員会第10回臨時会会議録

開会日時 平成25年10月28日 午前 10時00分

閉会日時 同 上 午前 10時55分

場 所 教育委員会室

出席委員 委員長 松 本 實
同職務代理 杉 浦 容 子
委 員 塚 本 亨
委 員 竹 高 京 子
教育長 塩 澤 雄 一

議場出席委員

・教育次長	濱中 輝	・学校教育担当部長	平沢 安正
・庶務課長	田口 浩信	・教育計画推進担当課長	若林 繁
・施設課長	伊藤日出夫	・学務課長	石合 一成
・指導室長	岡部 良美	・統括指導主事	志村 昌孝
・統括指導主事	光山 真人	・地域教育課長	小曾根 豊
・生涯学習課長	今井 英敬	・生涯スポーツ課長	竹嶋 和也
・中央図書館長	橋本 幸夫		

書 記

・企画係長 菊池 嘉昭

開会宣言 委員長 松 本 實 午前 10時00分 開会を宣する。

署名委員 委員 松 本 實 委員 杉 浦 容 子 委員 塩 澤 雄 一

以上の委員3名を指定する。

議事日程 別紙のとおり

開会時刻 10時00分

○委員長 おはようございます。ただいまから、平成25年教育委員会第10回臨時会を開会いたします。

本日は、面田委員から所用により欠席とのご連絡をいただいております。

本日の会議録の署名は、私に加え、杉浦職務代理と塩澤教育長にお願いいたしたいと思っております。

それでは、議事に入ります。

本日は議案等がございませんので、報告事項等に入ります。

報告事項等1「平成25年度中学校連合陸上競技大会の実施結果について」、ご報告をお願いします。

指導室長。

○指導室長 それでは私から、「平成25年度中学校連合陸上競技大会の実施結果について」、ご報告をさせていただきます。資料のほうをごらんください。

本年度も10月3日木曜日に中学校連合陸上競技大会が総合スポーツセンター陸上競技場で、全中学校24校、約760名の生徒が参加をいたしまして開催をされました。

そちらに結果を載せさせていただきます。

こちらの結果を見ていただきますと、男子、女子そして総合ともに1位から6位まで順位を載せさせていただきますが、男子の部につきましては1位立石中学校、女子の部につきましては1位常盤中学校、そして総合では常盤中学校が1位となったところでございます。

特に、かつて立石中学校が非常に強かった時期がございます。そして、特に今年度につきましては、総合の部で立石が今まで3連覇だったところを、常盤が今回総合では1位をとったというところでございます。

なお、こちらのところに今年度の順位を示させていただきますけれども、今年度新たに6位に入賞した学校につきましては、男子では、亀有中学校5位、そして金町中学校6位が新たにこのベスト6の中に入ってきております。女子では、東金町中学校の4位、さらには中川中学校が5位、そして堀切中学校が6位と入ってきております。特に中川中学校につきましては、校内に陸上部がないという中で、この女子の順位では5位の中に入ってきたということも、中川の子どもたちが頑張ったというふうに考えております。

なお、常盤中学校につきましては、女子ですが、2位にかなりの大差をつけて勝ったという、常盤の女子が非常に強かったところがこの結果から出ております。

大会新記録につきましてもそちらに示させていただきました。全部で四つの種目について出ております。少しご紹介をさせていただきます。

1年男子の1,500メートルにつきましては、今年度亀有中学校の伊藤優さんが新記録を出しております。今までの新記録は昨年度の4分41秒73ですので、約4秒ほどタイムが縮まったというところがございます。

次に、1・2年女子の走り幅跳びについては、同記録の1位が出ております。東金町中学校の及川真由さん、さらに四ツ木中学校の田島美怜さん、4メートル46でございました。今までの大会記録は、平成24年に生まれた4メートル45ということで、記録が1センチ伸びております。

次に、共通女子の800メートルでございます。こちら、堀切中学校の石塚あかりさんが2分26秒56という新記録を出しております。今までの記録ですと、平成23年度に生まれた2分28秒04というのが今までの記録でしたので、ここのところも約2秒縮まったというところがございます。

最後に1年女子4×100メートルリレーでございます。こちらでは常盤中学校のチームが54秒77という記録で新記録を出しております。今までの記録ですと、平成22年度の55秒47でしたので、こちらのほうも記録を塗りかえたというところになっております。

非常に子どもたちが頑張ったというふうに思っております。

なお、1点これは反省材料ですが、1年の男子1,500メートルにおきまして、2組中の1組におきましてタイムの計測器の不具合が生じております。教員のほうで予備のストップウォッチで計測をしたところではございますけれども、その意味で来年度その計測器の不具合がないように、また努めてまいりたいと思っております。

最後になりますが、今回の中学校連合陸上競技大会で子どもたちが頑張りましたけれども、また2月9日になりますが、第5回中学校東京駅伝が味の素スタジアムのほうで開催されます。昨年度より1か月以上早い開催となりますけれども、またこちらのほうで頑張った中学生が、葛飾区の代表として、中学校2年生となりますけれども、またまいりますので、そのときには教育委員の皆様にも応援方々お願いをできればと思っております。

私のほうからは以上でございます。

○委員長 ご質問等ありますか。

竹高委員。

○竹高委員 お疲れさまでございました。当日、朝からずっと競技を見ていて、目を離せなくて、結局最後まで見させていただいて、子どもたちの閉会式の充実した顔と日焼けをした顔がとても印象的な、すごくいい陸上競技会だったなというふうに感じました。

昨年もお話ししたかもしれないのですが、今回すごく天気がよかったので、中学校が待機している場所の、その日よけがない学校が一部あったかもしれないので、その点が、や

はり長時間になったので、ない学校にはその部分のフォローでありますとか、できれば各校、毎回毎回1校ずつ多分場所はずれていると思うので、毎年そこで暑い場所にいるわけではないと思うのですが、日よけをきちんと子どもたちにできるような状態にさせてあげていただけたらというふうに感じましたので、どうぞよろしく願いいたします。

○委員長 塚本委員。

○塚本委員 大変多くの種目にわたった競技会の運営をありがとうございました。

今、新記録の話をいただいたのですが、24校のうちの上位6位、それぞれ入ってございますけれども、相対的に新記録とは別にして、各37種目の中で、体力向上というのはどこか見られるような傾向があるのであれば、ご教示願いたいと。今日でなくてもよろしいのですが、これだけ活発になってきたという部分がどこか見受けられたらお教え願えればと。以上でございます。

○委員長 指導室長。

○指導室長 こちらのほうは、今新記録のほうのお話をさせていただきましたが、やはり子どもたちは、こちらの一つの大会を目指して日々練習をしております。その意味で、それぞれの自己ベストのほうは、子どもたちかなり出ているというふう聞いております。

なお、関連して、小学校のほうもこれから陸上競技大会も今年度から始まってまいりますので、小学校の子どもたちが、自分たちの小学校6年間の記録、さらには次の中学校に、さらにこういう大会もございますので、それを一つの目安として、今後も体力向上が図られるように、私たちもこの大会を継続的に進めていきたいというふうに考えています。

○塚本委員 ありがとうございます。どうぞよろしく願いいたします。

○委員長 杉浦委員。

○杉浦委員 24校のうち、中川中学校は陸上部がないというお話がございましたが、24校中、陸上部が設置されていない学校は何校あるのでしょうか。

また、陸上を得意とするとか、専門分野とする先生や監督を引き受けて下さる先生は、24校中何校いらっしゃるのでしょうか。

今回はじめて見させていただきましたが、立石中学校は3連覇こそならなかったとはいえ、男女とも平均しますと上位ということは、立石中が全体的記録も得点も伸ばしているという印象をこの表から見させていただきました。常盤中学校は総合得点92点、そうしますと男子の得点も女子の得点を引けば解るわけですね。立石中学校と新宿中学校の2校は男子生徒、女子生徒ともに上位の得点を得ていますが、日頃の生徒と先生の練習の積み重ねと努力のたまものと伺い知ることができました。

始めの2点については、教えて頂きたいと思います。

○委員長 指導室長

○指導室長 陸上部につきましては、24校中、陸上部を設置していない学校は11校、13校が陸上部を設置しているということでございます。

さらには、教員の関係でございますけれども、それぞれ教員には保健体育科の教員の専門性というのはあるとは思っております。実際、陸上競技そのものが専門という方は、例えば24校全というわけではないという状況ですけれども、保健体育科の教員ですので、こちらのほうは、武道の指導とは違って、やはり陸上は保健体育のある意味では基本の基本でもありますので、これについては専門性を発揮して指導をしていただいているというふうに、私たちは思っております。今立石、さらに常盤等のお話が出ましたけれども、立石中学校については、やはり陸上競技の専門性の高い先生がずっと勤めていらしたということも、この連覇というところが続いてきたのは、その意味もあると思いますし、さらには、お話があった立石についても新宿についても、さらにちょっと今回堀切は女子しか出てきておりませんが、やはりずっと伝統的に陸上競技部の強さというものが、それがやはり引き継がれている学校もありますので、そういう伝統があれば、先輩の姿を見て子どもたちも頑張ると、そういう姿も立石、新宿にはあるように私自身は思っております。

以上でございます。

○委員長 杉浦委員。

○杉浦委員 ぜひ、陸上部が設置されていない学校については、何らかの形で支援をしていただきたいと思います。今年度より体力向上をさらに推進しておりますので、よろしく願いいたします。要望です。

○委員長 ご苦労さまでした。以上でよろしいですか。

(発言する者なし)

○委員長 次に、報告事項等2「平成25年度（第28回）葛飾区中学校英語スピーチ&プレイコンテストの実施結果について」、ご報告をお願いします。

指導室長。

○指導室長 それでは、英語スピーチ&プレイコンテストの実施結果につきまして、ご報告をさせていただきます。資料をごらんいただきたいと思います。

本年度は、10月10日木曜日に、かめありリリオホールにおきまして、中学校の全校24校から65名の生徒が参加をいたしまして実施をしたところでございます。

午前の部につきましては、暗唱のレシテーションの部において2分以内、スピーチの部として2年生対象3分以内、プレイの部として演劇といたしまして、以上三つの部を実施しております。

なお、この演劇であるプレイの部につきましては、今年度も常盤中学校と立石中学校が出場をしたところでございます。

結果につきましては、そちらに載せさせていただいておりますが、暗唱のレシテーションの部におきましては、出場者8名で、その中の第1位につきましては、一之台中学校の1年生の西嶋楓さんとなっております。

2位につきましては本田中学校1年小関亨さん、そして第3位には双葉中学校1年齋藤めいさん、そして奨励賞といたしまして新小岩中学校1年の榎園絢音さんとなっております。

次に、スピーチ1の部でございます。

こちらにつきましては、6名の出場でございましたが、第1位は新宿中学校2年の来栖しえるさん、第2位は常盤中学校2年の高根咲良さん、第3位が水元中学校2年の丸山璃乃さんとなっております。

演劇のプレイの部につきましては、2校の出演でございましたけれども、常盤中学校が第1位ということになっております。

なお、スピーチ2の部でございますが、こちらにつきましては、その結果のように、奥戸中学校の三水美紗子さん3年生が第1位、新小岩中学校の3年北島有彩さんが第2位、亀有中学校の3年陶山恵真さんが第3位、そして奨励賞といたしましては、一之台中学校3年の池田美穂さん、青葉中学校3年の鈴木茉里奈さん、青戸中学校3年の矢野衣純さん、高砂中学校3年の坂田直隆さんが奨励賞となっております。

今回、審査をした方々の選考意見をお聞きいたしますと、今回は特に、優勝者、1位になった方はもちろんですが、上位入賞の生徒たちは非常に練習の成果を見事に発揮をされていたと、さらに英語を完全に暗唱をしていたと、そして自分の考え、内容、態度、発音、そしてイントネーションなども非常に高い水準であったというふうに私自身もお聞きをしているところでございます。

なお、ALTの審査の方からも非常に能力の高いスピーチであったという評価もいただいたところでございます。

なお、このスピーチの部は、原稿を壇上に置いて読むと減点になるという、厳しいところもございますし、出場者のほとんどが原稿を持たずにステージに上がり、堂々とスピーチをしていたということも聞いております。

中学校のこの英語スピーチ&プレイコンテストを区では実施をしておりますけれども、平日開催というところで、せっかく子どもたちが頑張っている姿が、なかなか多くの方にごらんいただけないというようなことも、いろいろなところからご意見をいただいております。ただ、中学校も秋の行事等の関連もあり、なかなか土日開催というところも難しい状況ではあります。

しかしながら、この中学生の子どもたちの姿は広めていきたいと思っておりますので、来年度の開催に当たりまして、この子どもたちの頑張っている姿がより広まるように、私たちのほうも対策は考えてまいりたいと思っております。

最後になりましたが、今年度の東京都中学校英語学芸大会が12月に実施の予定でございますが、本区では、スピーチ2の奥戸中学校の三水美紗子さんが、代表としてこちらの大会のほうに出席をすることになっております。

私のほうからは以上でございます。

○委員長 ご質問、ご意見ございますか。

(発言する者なし)

○委員長 それでは、私のほうからです。

私は、スピーチ2のほうを聞かせていただきました。担当の校長とも話をしたのですが、都内のほかの地区の発表会などは体育館でやるなど十分な力を入れていないところが多く、ここまでいっていないのですが、本区は、すごくいい環境のところでは発表でき、一部の生徒でありますけれども、大変英語の力をつけるよい機会になっているということと、英語科の指導に当たった教員が、指導力を高めていく、本当によい機会になっていますので、続けていったほうがよいと思います。

土日の開催ということも意見は聞くのですが、中学校も大変行事が詰まっていますし、一部の生徒のために教育課程を動かすのもなかなか大変なこともありますので、PRをして多くの人に見てもらいながら、平日開催でやっていくしかないのかなと私は思いました。

以上です。

ほかにごありますか。またよろしく申し上げます。

(発言する者なし)

○委員長 次にまいります。

報告事項等3「平成26年度『葛飾教育の日』の実施について」、ご報告をお願いします。

指導室長。

○指導室長 それでは、平成26年度『葛飾教育の日』の実施につきまして、ご報告をさせていただきます。それでは、26年度「葛飾教育の日」実施要綱をごらんいただきたいと思っております。

こちらの「葛飾教育の日」でございますが、平成23年度より葛飾区における土曜日授業といたしまして、家庭・地域の連携をより一層深め、葛飾区の教育の充実を図ることを目的に実施をいたしました。

本年度も、毎月小中学校で約2万人の保護者や地域の方に、小中学校の授業を参観していただいているところでございます。

さて、来年度の実施についてでございますが、こちらにつきましては、原則として月1回の土曜日を授業日といたしまして、半日を単位といたしまして、今年度と同様、児童・生徒の振り替えを行わないこととして、実施をまいります。

その日を「葛飾教育の日」としてまいります。

資料の別表にございます、来年度につきましては、日程をこのようにさせていただきます。

まず4月につきましては、今年度と同様にいたしまして、中学校と小学校の別日の開催をまいります。

さらには、来年度は9月でございますが、9月についても小中学校別日の開催とさせていただきます。こちらにつきましては、小学生の、中学校の選択に当たりまして、中学校の入学説明会等々がこの9月に行われることもございますので、別日の開催をいたしまして、小学生または小学生の保護者が、中学校の説明会のほうにも参加できるということも配慮いたしまして別日にさせていただきます。

続きまして、一つ変更点がございます。第3条の実施内容の2でございます。

こちらにつきましては、地域への公開を原則としておりますが、今年度まで、2のところには、「土曜日授業については通常の授業のほか、講演会、学集会、発表会などを行い、家庭、地域との連携を深めるように各学校が創意工夫をする」となっておりました。しかしながら、参観者の皆様のご意見を聞きますと、やはり通常の授業を見せてほしいということもございましたので、来年度からこのように変えさせていただきます。「土曜日授業は、通常授業の実施を基本とするが」と、ここの部分を変えさせていただいたところでございます。

夏季休業日の見直しもございますので、土曜日の授業につきましては、イベント等ではなくて、きちんとした授業を保護者の方、地域の方に見ていただくということで、「葛飾教育の日」につきましては、来年度実施をまいりたいと考えておるところでございます。

私のほうからは以上でございます。

○委員長 ご質問、ご意見等ありましたら、お願いします。

では、私のほうからですけれども、今ありましたように、夏休みの見直しもありますし、各学校を参観してみますと、ややイベントが多かったかなというところもあるので、このように通常授業を基本にということは、私は結構だと思います。では、よろしく願いいたします。

ほかの委員の方よろしいですか。

(「はい」の声あり)

○委員長 報告事項等4「スポーツ祭東京2013の実施結果について」、ご報告をお願いいたします。

生涯スポーツ課長。

○生涯スポーツ課長 それでは、私から、報告事項等4「スポーツ祭東京2013（第68回国民体育大会・第13回全国障害者スポーツ大会）の実施結果について」をご報告申し上げます。

まず初めに、本区で行われましたデモンストレーション競技であります、グラウンド・ゴルフ、バウンドテニス、太極柔力球、ダーツの4種目それぞれの開会式に松本教育委員長をはじめ、各教育委員の皆さんにご参加いただきまして、まことにありがとうございました。

9月28日土曜日のグラウンド・ゴルフを皮切りに、9月29日日曜日のバウンドテニス、月が変わりまして10月5日土曜日の太極柔力球、10月6日日曜日のダーツ、以上4種目に合計1,113名の参加者があり、そのうち区民参加者が374名を数えました。

いずれの競技も、大きな事故やけがもなく、盛況のうちに競技を終えることができました。

主な区民の成績につきましては資料に記載のとおりでございまして、グラウンド・ゴルフにつきましては、男子の部で第2位、第5位、第6位、女子の部で第2位、第3位、第4位、第6位に入賞をされております。

また、バウンドテニスにつきましては、団体ダブルス戦で、第1位グループで優勝、第3位グループで優勝、B Tラリー戦で第3位と入賞をされております。

太極柔力球につきましては、団体のほうの規定の演技のほうで第3位に入っております。

ダーツにつきましては、競技の部（Bフライト）で準優勝と第3位、シニアの部で優勝と第3位ということで入賞をされております。

どの競技につきましても優秀な成績をおさめておりまして、昨年のプレ大会から、連盟を挙げての練習の成果が実ったものと思っております。

実施結果の詳細につきましては、後ほど資料をごらんをいただきますようお願いいたします。

私からの説明は以上でございます。

○委員長 ご質問等ございますか。

竹高委員。

○竹高委員 2週間、4回にわたって皆様本当にお疲れさまでした。ありがとうございました。

4日間行かせていただいて、グラウンド・ゴルフなどは、とてもすばらしい天気のもとで開催することができてよかったなというふうに感じました。

グラウンド・ゴルフはやったことがあったのですけれども、バウンドテニス、太極柔力球、ダーツも見させていただいて、ちょっと太極柔力球などはやってみたいなど、私なども見ていて思うような競技でしたので、これが区民の皆さんにもっともっと身近になるような競技にながっていくことを願っております。よろしく願いいたします。

○委員長 杉浦委員。

○杉浦委員 今回は、「スポーツ祭東京2013」ということで、国体・障害者スポーツ大会に関連

した大会で、デモンストレーション競技といいましても、大きな大会でしたので、担当にあられた職員の皆様におかれましては、表面に出ないご苦勞もおありになったことと思います。本当にご苦勞さまでした。

一方で、なかなか通常経験できない事を経験され、今後のイベント等、事業運営に活かされることもあったと思います。今後のご活躍に期待いたします。4競技の会場もしっかり用意されていたのに、観客席に区民の方が少ないように感じました。周知・PRにひと工夫必要だったのかと、私自身も反省しました。ありがとうございました。

○委員長 よろしいですか。ご苦勞さまでございました。

次にまいります。

報告事項等5『『かつしかスポーツフェスティバル2013』の実施結果について』、ご報告をお願いします。

生涯スポーツ課長。

○生涯スポーツ課長 それでは私のほうから、報告事項等5『『スポーツフェスティバル2013』の実施結果について』をご報告申し上げます。

まず初めに、10月14日、スポーツフェスティバル2013の開会式に松本委員長をはじめ、各教育委員の皆様にご参加いただきまして、まことにありがとうございました。

当日は運動会日和で、非常にいい天気のもと開催することができました。

今回は、スポーツ祭東京2013の「ファイナルイベント」と位置づけ、会場をのぼり旗や東京都の推奨花で装飾し、また、スポーツ祭東京のマスコットキャラクターの「ゆりーと」を活用して、開会式で炬火の点灯式、閉会式で炬火の消灯式を行いました。

また、総合スポーツセンターをメイン会場として、各会場にて誰もが気軽に参加できるスポーツの楽しさを味わっていただきました。

さらに、今年度より公募を行い、区内企業等によるフードコートを出店し好評をいただいたところでございます。

資料をごらんください。

当日の参加人数でございますが、延べでございますけれども35,292人ということで、昨年度より約3,300人の増ということでございました。

会場の内訳でございますが、陸上競技場が7,150人、周囲のイベントについては13,863人でありました。こちらが約2,500人の増加となっております。また総合スポーツセンター体育館の中のイベントでございますが、ご来場者は大変多かったのですけれども、各コーナーごとの体験利用が減りまして、昨年度よりも3,000人減となっております。

そのほか、各施設などの利用状況でございますけれども、温水プール、エイトホール館につ

きましては、昨年度まで陸上競技場手前で行っていましたが縁日ゲームコーナーを移設して実施した結果、約2,400人増となっております。

そのほかの利用状況等につきましては、昨年と同様の数字となっております。

次に、地区対抗競技の結果でございますが、今年の総合優勝はお花茶屋地区、準優勝亀有地区、第3位高砂地区でございました。

また、救護、迷子の件数でございますが26件ということで、救護13件・迷子13件ということでございました。昨年と比較して、救護で5件、迷子で11件の増であり、3か所の増加に伴うものであると認識しております。

1枚おめくりください。実施機関の詳細及び、地区対抗競技の総合成績になっております。後ほどごらんおきいただきますようお願いをいたします。

私からの説明は以上でございます。

○委員長 ご質問等ございましたらお願いします。

竹高委員。

○竹高委員 この日は本当に天気もよくて、皆さんお疲れさまでございました。

毎年、多分10年ぐらい見させていただいているかとは思うのですが、その中で、一番盛大に行われていたのではないかなというふうに感じさせていただきました。

いつもですと、体育館の前の部分が子どもたちが遊ぶベースになっているのですが、そこがフードコートになっていて、やはり応援しに来た方たちなどが、長時間にわたっても、地域で皆さんがやっていることを応援できて、子どもたちが合間合間で遊ぶこともできて、食べることもできて、お弁当だけではなくて、いろいろな意味で楽しむこともできるというのがとてもすばらしい成果ではないかなというふうに思います。

毎年毎年、競技に出る子どもたちが、合間にあるパン食い競争であるとか、そういうのになかなか出られる時間帯がなかったりするのが現状だったので、こういう意味で、来ていただいたところも大学の方がフードコートに入っていたりとか、いろいろなハンバーガーがあったりとか、いろいろなパンがあったりとか、そういう葛飾区の中の産業を子どもたちが目にして買って味わうということもすごく大事なことだと思うので、ぜひ続けていただけたらいいなというふうに感じました。

当日本当にお疲れさまでした。ありがとうございました。

○委員長 生涯スポーツ課長。

○生涯スポーツ課長 今、竹高委員からご意見をいただきまして、フードコートの件でございますけれども、今回初めて、今まで縁日コーナーだったところをフードコートにしまして、実際に当日8,800食が売れております。

東京聖栄大学を初め、いろいろなところにご協力をいただき、また公募で応募していただいて、2社ほど出店をする品物が重なるというところでふるいにかけてところもございまして、そこは区内業者を生かして、区外の業者をふるいにかけてところもございまして。出店した企業の方は、ぜひ来年も出店させていただきたいということで、利用した方並びに出店された方も、両方相互に喜ばれたという状況になっております。ありがとうございました。

○委員長 塚本委員。

○塚本委員 本当に当日、運営なされた職員の方々ご苦労さまでございました。

私は初めて参加させていただいたのですが、非常に多岐にわたって、先ほどご報告がございましたスポーツ祭東京2013の「ファイナルイベント」という位置づけということで、それなりに盛り上がりがあったと思うのですが、やはり特に19の地区の対抗競技ですか。ちょっと気になるのが、別表でございませけれども、19地区の中でほとんど顔が見えない地区がございまして、その辺の背景というのでしょうか。例えば地区内でのコミュニケーションのとり方、あるいは底上げできるような、これからの問いかけで何か施策として、次年度につなげるものとしてお持ちであれば、活性化ということで伺ってみたいのです。

○委員長 生涯スポーツ課長。

○生涯スポーツ課長 通常でいきますと、一番のメインの競技としましては、やはりその地区内における小学校、中学校を中心としてやっておりまして、私も堀切の地区センター長を5年やっておりまして、地区の状況を見ますと、堀切地区であれば、小学校が綾南小学校と堀切小学校2校がありますので、隔年、今年であれば綾南小学校が出ていて、来年はまた堀切小学校ということで、交互に出ている。中学校の部については、堀切中学校1校ですので、堀切中学校の生徒さんたちが中心になってやっていく。それは、地区委員会の皆さんが協力して、それを盛り上げてというか、中学生、小学生の競技に協力して何とか地区として頑張ろうというところでやっております。そのほかの地区は、ちょっと私ご存知ないのですけれども、同じような形で、地区を挙げて、なんとか地区優勝を目指してやっているものだと認識をしております。以上でございます。

○塚本委員 今後ともどうぞよろしく願いいたします。ありがとうございました。

○委員長 杉浦委員。

○杉浦委員 細かいことですが、先ほどご説明がありましたが、フードコートの出店は、区民参加者にとっても喜ばれたと思います。お天気に恵まれたせいでしょうか。区民の方、特に子ども連れの方が多く、和やかな雰囲気の中、本当にスポーツを楽しむ、見て楽しむ、体験して楽しむ方が行きかって、とても良い満足の1日となりました。

2番目に、今回初めての登場かと思いますが「フワフワ無重力体験コーナー」でしたのでしよ

うか。ドーム型の施設が子どもたちに人気で、子ども連れの家族で賑わっておりました。順番待ちで、陽の差す中、7メートル以上に連なってお父さん・お母さんが子どもと一緒に長い列に並んでいて気の毒でした。次回はひと工夫をしていただきたいと思います。

それから裏面に、「無料開放施設利用者」とございます。一番上の柴又野球場は、参加人数100名となっています。下段の柴又は0人、その4行下の堀切橋野球場一面4区分が0人、四ツ木の上の野球場は230人となっていますが、この辺のご説明をお願いいたします。次に右下、「協賛企業イベント利用者」とございます。キッツスポーツから江戸川ラインゴルフ場まで記載されています。数字が「0」「3」「188」とありますが、それぞれのイベント協賛会場の当日の利用人数なのか、総合スポーツセンターの会場で利用した人数なのか、教えてください。

最後に、地区対抗競技の総合成績の報告が記載されています。6地区が載っていて、その地区が3位までに入った競技には順位も記載されています。綱引き、地区別リレー、大縄跳びの種目でそれぞれの地域の応援で大変盛り上がり、楽しいひと時でした。ただ、大縄跳びの2位の記載がありませんので、最終的にどこの地区だったでしょうか。

以上よろしく願いいたします。

○委員長 生涯スポーツ課長。

○生涯スポーツ課長 まず、バスのアクセスが悪いというところで、例年どおり、巡回バスを臨時に出しているところでございます。昨年は、帰りのバスの時間が閉会式となかなか合わなくて利用者の方にご迷惑をかけたということで、今年は閉会式終了後速やかにということで問題なく行かれたところでございます。アクセスについては、今後も、当日参加される、あるいは見学をされる方の要望等が上がれば、また別のルートも考える必要があるのかなというふうには認識をしているところでございます。

もう1点、フワフワ無重力体験の件でございますけれども、今、杉浦委員のお話にあった部分も、やはり少しその担当としてやられているスポーツ推進委員さんのほうからもご意見が出ておまして、これは明日スポーツフェスティバルの反省会がございまして、その中でもきっと出てくる話ですし、今後に向けて、ずっと並ばせるのがいいのか、ある程度整理券を配って、では何時からこの番号の方を受け付けますよというところでお出ししたほうがいいのか、ちょっとその辺は検討をさせていただきたいなというふうに思っているところでございます。

それから、無料開放の施設の部分でございますけれども、これにつきましては、往復はがきでこの野球場等の部分について募集をかけているところでございまして、その募集がなかったところはゼロと。何人で使うかということも、それもはがきで出してもらっておりますので、その集計がこの数字に出ているものでございます。

もう1点、協賛企業のイベントです。これについては、例えば、ボーリング場であれば、一

般の料金にパンフレットを持って行けば50円引きでご使用になれるといったものが、各協賛企業にこちらからお電話を差し上げて、何件ご利用者がありましたかというところの参加人数がここに入っているものでございます。

以上でございます。

それで、すみません。大縄跳びの最終成績です。申しわけございません、私のほうで今持ち合わせておりませんけれども、後ほどご報告したいと思います。

○委員長 ほかよろしいですか。

私は、スポーツ祭東京2013と葛飾スポーツフェスティバルが今年は重なって盛り上がったということと、両方のイベントにたくさんの方がボランティア、それから役員としてまちに立って、成功させるために働いていたということに、本当に頭の下がる思いがいたしました。

また、このスポーツフェスティバルは、地区委員会の中で、学校の職員と地域の方とが非常に協力し合っているということで、子育て、学校の教育にも大いに役に立っているということで、これからも生きていくのではないかなと思います。

また、反省会があるようですので、そこで改善していただければと思います。

以上で終わりたいと思います。

報告事項等6「『こやのエンジョイくらぶ』の法人化について」、ご報告をお願いします。

生涯スポーツ課長。

○生涯スポーツ課長 それでは私のほうから、報告事項等6「『こやのエンジョイくらぶ』の法人化について」をご報告申し上げます。

平成20年9月28日に設立しました「こやのエンジョイくらぶ」かつしか地域スポーツクラブ認定第一号クラブになりますが、今年で設立5周年を迎え、本年10月1日付で、特定非営利活動法人となったものでございます。

法人化取得に至った経緯につきましては、クラブ会員数が資料の会員グラフにありますように、543名と順調に推移している状況で、今までの任意団体のままでは、けがや事故などで責任保障の所在を問われたときに、任意団体の長である会長個人に全責任が集中するなど、運営自体にも限界があったため、総合型地域スポーツクラブとして自主自立した運営をするために、法人組織として基盤を固めることが必要であるということから、特定非営利活動法人の取得を目指すこととなったものでございます。

法人格取得後は、法人としての口座開設ができることから、資産を団体として管理することが行えるなど、法律で責任や権利が明記され社会的な信用を得ることができるようになり、地域住民や会員にとって、より安心・安全なクラブとなります。

本区といたしましては、運営全般の透明性を確保しながら、「スポーツを通じたまちのコミュ

ニティ」として、今後のさらなる活動を期待するものでございます。

私からの説明は以上でございます。

○委員長 質問、ご意見等ありますか。

竹高委員。

○竹高委員 昨日、こやのエンジョイクラブの5周年の会に、こやのフェスタのほうに参加させていただいて、子どもたちの元気な姿や年配の方の姿を見させていただいて、午後遅くまで玉入れですとか、そういう声を聞くことができ、とても楽しそうな声を聞くことができました。お疲れさまでした。ありがとうございます。

こやのエンジョイくらぶに本当に近い場所に、私は住んでいるのですけれども、これだけ人数が集まって、法人化になって、これから先もどんどん会員も増えて広がっていくことを望むのですけれども、年配の方もしくはとても小さい子がチアリーディングをやるとか、そういうことで参加している姿が見受けられるのですけれども、私と同年代の方や主婦層の方がなかなか手を出して参加できないというのが現状に問題点としてはあるようには感じます。

もっともっと、主婦層の、自分のためにお金を使えない方たちも参加しやすいようなイベントみたいなものが月に何回か行われる、しかもそれが平日で、主婦層の方も出られるような時間帯にもちょこっとあるように工夫もされていって、もっともっと地域に根強く、スポーツをどんどんできるようなクラブにつながっていくことを願っておりますので、ぜひ頑張っていたきたいなと期待しております。よろしく願いいたします。

○委員長 生涯スポーツ課長

○生涯スポーツ課長 今竹高委員さんからご意見いただきましたけれども、まさに主婦層の方がこのスポーツクラブ、これはこやのエンジョイスポーツクラブに限らず、オール水元スポーツクラブでも、本当に懸案事項でございます。その層をいかに取り込むかということが、今後のこのスポーツクラブのこれからの発展性を一番求められるところだと思いますので、私どもとしても、どういったものであれば参加していただけるかというのを模索しつつ、今後地域の方と一緒に、当然スポーツクラブを中心にですけれども、私どもも知恵を絞ってその辺を検討してまいりたいと思っております。

以上でございます。

○委員長 杉浦委員。

○杉浦委員 かつしか地域スポーツクラブ第一号「こやのエンジョイくらぶ」が、いよいよ自立し、法人化されました事、大変嬉しく思います。法人化するまでに区の当局・関係者・地域の皆様のご苦勞ご尽力があり、やっとここまでたどり着いたと思っています。この報告を見ますと、既に10月1日に特定非営利活動法人に認定されてスタートしたとございます。理事長、

ほかの役員、事業内容等を記載したパンフレットのようなものはでき上がっているのでしょうか。

○委員長 生涯スポーツ課長。

○生涯スポーツ課長 パンフレットというのはまだつくっておりませんが、当然のことながら、特定非営利活動法人になったという、そういった証明になるものはありますので、今後、当然これから事業活動報告等の情報公開なり、また決算なり、全て透明化になりますので、皆さんのほうには、区民の皆さん、またこの会員の皆さんにはより安心して利用できる、活動ができる形でやっていけるのだと認識をしております。

○委員長 杉浦委員。

○杉浦委員 事業活動報告は必ず年度で提出、公表されるわけですが、法人化されたということで、役員の氏名、事業内容、どういう事業を行うのか、多分書面ができています。もう既に10月1日に法人化認定されたとのことのご報告ですので、何か書面で提出できるものがあれば、要望いたします。

○委員長 生涯スポーツ課長。

○生涯スポーツ課長 ただいま杉浦委員さんからご提案いただきましたので、次回以降、そのほうをこの場でお示ししたいと思います。

以上でございます。

○委員長 よろしいですか。

(発言する者なし)

○委員長 それでは、報告事項等7「東京都功労者表彰（スポーツ振興功労）及び東京都スポーツ功労賞の受賞について」、ご報告をお願いします。

生涯スポーツ課長。

○生涯スポーツ課長 それでは私のほうから、報告事項等7「東京都功労者表彰（スポーツ振興功労）及び東京都スポーツ功労賞の受賞について」をご報告申し上げます。

平成25年度の東京都功労者表彰（スポーツ振興功労）及び東京都スポーツ功労賞の受賞者につきましては、東京都功労者スポーツ振興功労は、葛飾区体育協会副会長であり、葛飾区卓球連盟会長の酒井榮一会長が受賞されました。

また、東京都スポーツ功労賞は、スポーツ功労者として、葛飾区少林寺拳法連盟理事長であり、葛飾区体育協会常任理事（総務部長）の吉田尚理事長が受賞されました。

同じく、東京都スポーツ功労賞の、スポーツ功労団体（地域スポーツクラブ）として、こやのエンジョイくらぶ（かつしか地域スポーツクラブ）が受賞いたしました。

それぞれの受賞に至った活動歴及び業績につきましては、資料の内容に記載のとおりでござ

います。後ほどごらんをいただきますよう、よろしくお願いいいたします。

簡単でございますけれども、私からの説明は以上でございます。

○委員長 ただいまの報告について、ご質問等ございますか。

(発言する者なし)

○委員長 ないようですので、表彰本当におめでとうございまして申し上げますと申し上げたいと思います。

それでは、報告事項等を終了いたします。

ここで教育委員の皆さんより発言がありましたら、よろしくお願ひします。よろしいですか。

(発言する者なし)

○委員長 ないようですので、続いて「その他」の事項に入ります。

庶務課長、一括してご説明をお願ひいたします。

○庶務課長 「その他」といたしまして、「資料配付」でございますが、(1)の「11月行事予定表」は机上の資料と差し替えさせていただきたいと思ひます。

それから2点目は、10月30日発行の「かつしかのきょういく」で第122号を添付させていただいておりますので、後ほどごらんいただければと思ひます。

第2の「出席依頼」でございます。最後の資料、出席予定表一覧をごらんいただきたいと思ひます。

まず、11月5日、かつしかシンフォニーヒルズで行います、中学校連合音楽会の1日目、これを杉浦委員にお願ひしたいと思ひます。

次の11月6日、同じく中学校連合音楽会の2日目の午前の部を松本委員長にお願ひしたいと思ひます。

同じく、午後の部でございますが、塚本委員にお願ひしたいと思ひます。

11月15日、かめありリリオホールで行います、小中学校特別支援学級連合学芸会は面田委員にお願ひしたいと思ひます。

11月21日、かつしかシンフォニーヒルズで行います、小学校連合音楽会の1日目を竹高委員にお願ひしたいと思ひます。

翌22日、2日目の午前の部を松本委員長にお願ひできればと思ひてございます。

同じく午後の部を杉浦委員にお願ひしたいと思ひます。

それと、次回の教育委員会でございますが、11月12日火曜日、10時からお願ひできればと思ひてございます。

以上でございます。

○委員長 ありがとうございます。よろしいでしょうか。

それでは、これもちまして、平成25年教育委員会第10回臨時会を終了いたします。

どうもありがとうございました。

閉会時刻 10時55分